

Dance Drill Spring Festival 2018

Japan Dance Drill Championship

実施要項

1. 大会名称 Japan Dance Drill Championship / 全日本ダンスドリル選手権大会

2. 期 日 EAST 2018年3月17日(土)
WEST 2018年3月31日(土)

3. 会 場 EAST 駒沢オリンピック公園総合運動場 体育館
WEST 大阪市中央体育館

4. 主 催 NPO(特定非営利活動法人)ミスダンスドリルチーム・インターナショナル・ジャパン
〒102-0083 東京都千代田区麴町2-5-20 押田ビル3F
TEL:03(3556)6080 FAX:03(3556)6139
HP: <http://www.dancedrilljapan.com/>

5. 大会参加費 団体一部門毎、参加者一名につき3,500円。補欠も一名につき3,500円。
1エントリーにつき4名以上(3名以下でのエントリー不可)

6. 《エントリーについて》

★ 複数部門へのエントリー

エントリー後の増員、メンバー変更は認めない。

一名につき団体二部門までエントリー可。

複数部門出る場合は、重複関係がわかるようエントリーシートに記載すること。

★ エントリー受付

エントリー総数に制限があります。エントリー申込は先着順となります。

団体情報登録シート及び、エントリーシートの受付をもってエントリーとします。

★ エントリー方法

* ホームページからエントリーシートを取得し、入力の上、下記メールアドレスへ送信して下さい。

EAST応募 E-Mail送付先: east@dancedrilljapan.com

WEST応募 E-Mail送付先: west@dancedrilljapan.com

★ エントリー期間

EAST 2018年1月22日(月)12時より2月13日(火)17時まで(厳守)

WEST 2018年1月29日(月)12時より2月19日(金)17時まで(厳守)

上記締切前でもエントリー上限に達した時点でエントリーを締切ます。

エントリー制限はホームページをご確認下さい。

★ エントリーの注意事項

* エントリーシートに記入漏れ、不備があった場合は無効とします。

* エントリーの際メールの送信は1エントリーにつき1通のみとし、複数人による同時申込は受付できません。

* エントリー応募の後、こちらから確認メールを返信します。順次確認メールを送信しますので、

電話でのお問い合わせ・受付前の入金を行わないで下さい。

* メール本文に団体名と担当者名を入れ、エントリーシートに不備がないかを確認の上メールを送信して下さい。

★ 参加費振込みについて

* 参加費はエントリー後3日以内に、下記銀行口座に振込んで下さい。

入金確認をもって正式エントリーとします。

*** 振込み人の名前は、エントリーした団体名と確認メール記載の申込番号を入れて振り込んで下さい。**

* 振込み後の大会参加費は返還致しません。

振込先

三菱東京UFJ銀行 麴町支店 普通預金 口座0108687 口座名義 ミスダンスドリルチーム

7. 出場資格及び実施部門

学校団体以外(学校名での出場不可、チーム名での出場は可)の全ての団体

編成	出場資格	実施部門			
		JAZZ	HIP HOP	POM	Dance Drill
Mini	出場選手全員が 小学校4年生以下	○	○	○	○
Youth	出場選手全員が 小学校6年生以下	○	○	○	○
Junior	出場選手全員が 中学生以下	○	○	○	○
Senior	出場選手全員が 高校生以下	○	○	○	○
Open	年齢による出場 制限なし	○	○	○	○

※出場編成は年長者の出場選手に合わせる事

※参加数が多い部門は人数によりSmall編成、Large編成に分ける場合がある。

8. 演技時間

1分45秒以上2分30秒以内

9. 表彰について

★〈部門賞〉

各部門1位から3位を表彰する。

★〈総合〉

部門全てを通じて最高得点団体をグランドブライズ(1位)として表彰する

10. 演技フロア

(1) 演技フロアはおよそ13m×13m。Dance Drill 部門のみ縦15m×横28mとする。

※ラインオーバーによる減点はなし

会場の状況によって演技フロアのサイズを変更する場合がある。

(2) 演技フロアの中央に縦のラインを引く。さらにセンターポイントとして横に1mラインを引く。

(3) 全ての演技は演技フロアの中で行わなければならない。

(4) 演技フロアの保護のため、出場選手はピンヒール等、床に傷のつく恐れのあるシューズを着用してはならない。

また演技に使用するバトン、プロップ等にはゴム等を装着するなど床に傷を付けない工夫をすること。

11. 審査

※Dance Drill部門以外は本項に従い、ICU準拠のルールにより行います。

下記URLをご参照ください。

※Dance Drill部門は項目13のセーフティガイドラインを参照すること。

POM部門,JAZZ部門,HIPHOP部門のセーフティガイドラインは下記URLを参照すること。

国際チア連盟(ICU)および日本スポーツチア&ダンス連盟(Cheer Japan)により規定されたルールによって行います

詳細は下記CheerJapan主催JapanOpen大会ページよりDance項目のルールブックをご参照ください。

<http://www.jfsc Cheer.org/competition/japanopen.html>

部門ごとの審査のポイント

部門	テクニック	グループでの実施	振付	全体の印象
POM	<p>●アームモーションテクニックの実施</p> <p>クリーンな腕のライン・高さ・形・シャープさ・強さ・正確さ</p> <p>●ダンステクニックの実施</p> <p>腕・胴体・腰・脚・手・足先の正しい位置と高さ/ボディコントロール/引き上げ</p> <p>●テクニカルスキルの実施</p> <p>リーブ・ターン・ジャンプ・リフト・パートナーワークなどが正確に実施されているか</p>	<p>●同調性/音楽とのタイミング</p> <p>音と一体になった動き</p>	<p>●音楽性/創造性/オリジナリティ</p> <p>音楽のアクセントやスタイルを使った創造性のあるオリジナルな動きを取り入れているか</p>	<p>●観客とのコミュニケーション</p>
JAZZ	<p>●テクニカルスキルの実施</p> <p>リーブ・ターン・ジャンプ・リフト・パートナーワークなどが正確に実施されているか</p> <p>●位置/コントロール/伸び</p> <p>腕・胴体・腰・脚・手・足先の正しい位置と高さ/ボディコントロール/引き上げ/バランス</p> <p>●スタイル/動きの強さ</p> <p>スタイル/動きの強さが出せているか</p>	<p>●動きの均一性</p> <p>動きがクリーンで正確に全員が揃っているか</p>	<p>●フロアーの使用/視覚的効果</p> <p>フォーメーションや移動/グループワークでの視覚的効果/高低差/対称/ボンの使い方</p>	<p>●計画性</p>
HIP HOP	<p>●動きの強さ</p> <p>動きの強さが出せているか</p> <p>●HIPHOPスタイルの実施/位置/コントロール</p> <p>腕・胴体・腰・脚・手・足先の正しい位置と高さ/ボディコントロール</p> <p>HIPHOPのスタイル (tutting, popping, locking, waving, lyrical) などの実施</p> <p>●スキルの実施/アスレチック技の取り込み</p> <p>フロアーワーク・フリーズ・パートナーワーク・リフト・トリック・ジャンプなどの実施</p>	<p>●位置間隔</p> <p>ルーティンや移動の際に均等で正しい間隔であること</p>	<p>●難度</p> <p>スキル・動き/体重移動・速度などの難度</p>	<p>●観客へのアピール</p> <p>●音楽・衣装・振付・メイクがダンサーの年齢に適正か</p>
Dance Drill	<p>●ダンステクニックの実施</p> <p>腕・胴体・腰・脚・手・足先の正しい位置と高さ/ボディコントロール/引き上げ</p> <p>●テクニカルスキルの実施</p> <p>リーブ・ターン・ジャンプ・リフト・パートナーワークなどが正確に実施されているか</p> <p>●Dance Drillスタイルの実施</p> <p>Dance Drillのスタイル(プロップ・ミリタリー・メジャーレット・ショートフラッグ・ノベルティなどの実施</p>		<p>●音楽性/創造性/オリジナリティ</p> <p>音楽のアクセントやスタイルを使った創造性のあるオリジナルな動きを取り入れているか</p> <p>●フロアーの使用/視覚的効果</p> <p>フォーメーションや移動/グループワークでの視覚的効果/高低差/対称/手具の使い方</p> <p>●難度</p> <p>スキル・動き/体重移動・速度などの難度</p>	

12. セーフティガイドライン(Dance Drill部門のみ)

本協会では、安全に競技を行うために、下記のセーフティガイドラインを設定する。

- A. ピアス、イヤリングは禁止。
- B. ポンポンやプロップを持った状態での演技フロア上での体重をかける技やタンブリングは禁止(ストールなどを含む)。(例外:前転・後転は認められる) 体重をかける技は何も持っていない状態の手で演技フロアに接していること。
全体重を他のメンバーにかける場合も、手に何も持っていない状態で行うこと。
※リフトの上に乗るメンバーが土台のメンバーに全体重をかけてから上に乗る場合も素手で行うこと。
- C. 空中で回転を伴うアクロバット技については一人で行うこと。
(バックフリップ、側宙、バク転、前方転回など)
人の上に乗る場合必ず出場メンバー内で補助をつけること。(肩、背中、手、膝など)
人の上から飛び降りるのは禁止。
但し、ジャンプの踏み切りから着地まで補助があれば実施可能(リフトとみなす)
※トータッチジャンプをするメンバーの腰を土台のメンバーが支えて実施するのは可能。
- D. その他、審判員が危険とみなした行為。

13. ペナルティ(全部門共通)

- (1) エントリー資格を有さない者が出場した場合。(失格)
- (2) エントリーした選手以外、または多い人数が出場した場合。(失格)
- (3) 演技時間の過不足±5秒以上あった場合は結果より**2点減点**する。
- (4) **10項(3)**の内容が守られなかった場合、ポイントでのペナルティが課せられることはないが、悪質な違反と見なされた場合には、失格となることがある。
- (5) 演技フロア保護の為の処置がされていなかった場合(失格および修繕の為の実費請求)
- (6)(Dance Drill部門のみ) **13項**が定める禁止事項一人一回の実施につき結果より**2点減点**する。